

# ナウマン通信



2021年  
12月6日発行  
第26号

大阪市立我孫子南中学校

## 自分流の2刀流に挑戦しよう

今年1年間、最も耳にし、話題になった言葉を選ぶ流行語大賞が今年も発表になりました。何か知っている人はいますか？ 今年は

『リアル2刀流・ショータイム』が大賞に選ばれました。他には

A d oの「うっせえわ」、東京オリンピックのスケートボードの実況

で話題になった「ゴン攻め、ビッタビタ」やパラリンピックの種目であるボッチャの金メダリストの得意技「スギムライジング」など、君たちもよく耳にしたことかと思います。昨年は「3密」などコロナ関連の言葉や「鬼滅の刃」に関する言葉が多かったです。

リアル二刀流のリアルとは現実という意味で今まで空想の世界や漫画の世界でしか見ることのなかったような活躍を大谷選手は現実にやってきました。

野球の世界ではレベルが上がれば上がるほど、投手は投手、野手（守備やバッティング）は野手に専念する選手がほとんどです。しかもプロになれる人はほんの一握り、試合に出られる人はさらに少なくなります。ましてや世界最高峰のメジャーリーグで2刀流として試合に出続け、ハイレベルな結果を残した大谷選手はやっぱりすごい選手だと改めて思います。

では、君たちは何刀流でしょうか？ 身近な2刀流といえば『文武両道』という言葉があります。「文武両道」とは「学問と武道という事から勉強とスポーツ、或いは双方が得意や優れている」という意味です。昔から全国各地の学校では「文武両道」の精神を大なり小なり、子ども達に教えてきたと思います。ようは勉強とスポーツの両方を手を抜かずに頑張るという意味です。このことをモットーにしている学校はたくさんあります。逆に好きなことは一生懸命できるけどそれ以外はやらない。これでは1刀流になってしまいます。

クラブは頑張れるけど勉強はイヤだ、勉強は頑張れるけど読書は嫌いだ、掃除は好きだけど、あいさつは苦手だ。など、そんな1刀流になってしまいませんか？

大谷選手のような2刀流で活躍することは今は無理でも『**身近な2刀流、3刀流に挑戦**』してみませんか。君たちにはそれができる力が十分に備わっていると校長先生は信じています。2学期も残りわずか、最後までしっかり頑張るとともに新しいことにも挑戦していきましょう。

